

関係各位



2011年7月12日

コヴィディエン ジャパン株式会社

コヴィディエン ジャパン株式会社がベッセルシーリングシステム「LigaSure™」の開腹用小型
ハンドピースを発売開始

グローバルヘルスケアカンパニーである Covidien (コヴィディエン)の日本法人で、医療機器、医薬品、医薬品原料等を扱うコヴィディエン ジャパン株式会社(本社:東京都世田谷区、代表取締役社長:野田 良)は、2011年7月13日より、多機能かつ操作の簡略化を期待できる、ベッセルシーリングシステム「LigaSure」の開腹用シングルユースハンドピースである商品名「LigaSure™ Small Jaw」を発売します。

LigaSure テクノロジーは 12 年の歴史を有し、全世界で、年 100 万症例以上に使用されています。ForceTriad™ エネルギープラットフォームに接続した LigaSure™ は毎秒 3,333 回、組織のインピーダンスを検知し、最適な出力をすることにより、電気エネルギーと圧力の組み合わせにより脈管内腔を癒合させます。一般外科手術での血管(直径 7mm まで)、組織束、リンパ管の結紮及び切離に使用し、手術用縫合糸による結紮の代わりに使用され、体内に異物を残すことなく、血管を閉鎖・切離することができます。また、LigaSure を使用することにより、出血量の減少と手術時間の短縮に貢献し、患者への侵襲と合併症のリスクを軽減することが期待されます。

新しいハンドピース LigaSure Small Jaw は一般的なエネルギーデバイスに比べ、アゴの熱履歴が低く、周辺組織への熱拡散による侵襲を軽減することが期待されます。また、従来型の LigaSure ハンドピースに必要であったラチェットを無くし、握りこむ際に触れる位置に出力スイッチを付けた事により、操作性が高まりました。さらに、アゴ先端の形状が従来品から改良されたことにより、剥離操作への使用が可能になりました。これにより、1 種類のデバイスで組織の剥離・把持・シールが行なえ、器具の持ちかえを減らせるようになりました。また、独立したカッティングシステムを採用しているため、止血操作にも使用可能です。

コヴィディエン ジャパンは消化器外科、内分泌外科、耳鼻科領域における高い安全性を有する製品の販売促進を強化することにより、この分野における医療従事者の満足度を最大化することを目指します。

■LigaSure™ Small Jaw



LF1212



■LigaSure™ Small Jaw の使用イメージ



<Covidien について>

グローバルヘルスケアカンパニーである Covidien は、革新的なメディカルソリューションを創造し、様々な医療分野で貢献すべく事業展開しています。医療機器、医薬品、医療用サプライの 3 つのセグメントで業界をリードする製品ラインアップを揃え、世界 65 カ国以上に社員約 41,000 名を有し、140 カ国以上に製品を販売しています。2010 年度の総売上は約 104 億ドルです。

Covidien の事業内容について詳しくお知りになりたい方は www.covidien.com をご覧ください。

<コヴィディエン ジャパン株式会社について>

本 社： 東京都世田谷区用賀四丁目 10 番 2 号
代 表 者： 代表取締役社長 野田 良(のだりょう)
事 業 内 容： 医療機器、医薬品及び医薬品原料等の製造、輸入及び販売
U R L: <http://www.covidien.co.jp>

COVIDIEN、コヴィディエン及び COVIDIEN ロゴマークは Covidien AG の商標です。
TMを付記した商標はCovidien companyの商標です。

本件に関するお問い合わせ先
コヴィディエン ジャパン株式会社 人事総務本部広報グループ
堀内・猪田
電話番号： 03-5717-1700

IR に関するお問い合わせ先

Cole Lannum:	Investor Relations Officer	(508) 452-4343; (508) 409-9366
Brian Nameth:	Investor Relations Director	(508) 452-4363; (508) 409-1617
Bruce Farmer:	Public Relations Vice President	(508) 452-4372; (508) 409-9862